



創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編 大学生による市内事業所インタビュー

うきは果樹の村 やまんどん

Q. 御社の特徴や強みを教えてください。
一年を通してフルーツ狩りが楽しめるのが他の果樹園にはない特徴です。最近では家族連れやカップル、外国の方までたくさんの方が来られます。「やまんどん」のフルーツは、うきはのお

私はこの活動に魅力を感じ、年間を通してお客様に来てもらえるように、農作業の一部を体験でき、四季の移り変わりに楽しんでもらえるような観光農園事業を始めました。
現在は6次産業にも力を入れており、果樹園の隣に「夢語寄家（むごよか）」というカフェを経営しています。

Q. 創業からの歴史と現在の事業内容を教えてください。
祖父の代から、ブドウと梨を中心に栽培し、国道210号沿いの直売店で販売を行っていました。当時、販売は好調でしたが、私が事業を引き継いだ頃、台風の影響などで経営が困難になったことがありました。その時、当時の浮羽町（現うきは市）が「グリーン・ツーリズム」の話を持ってきてくれました。「グリーン・ツーリズム」は、通称「農村滞在型余暇活動」と呼ばれ、「都会の人は休みの日に農村に遊びにおいで」という活動です。

Q. 創業からの歴史と現在の事業内容を教えてください。
祖父の代から、ブドウと梨を中心に栽培し、国道210号沿いの直売店で販売を行っていました。当時、販売は好調でしたが、私が事業を引き継いだ頃、台風の影響などで経営が困難になったことがありました。その時、当時の浮羽町（現うきは市）が「グリーン・ツーリズム」の話を持ってきてくれました。「グリーン・ツーリズム」は、通称「農村滞在型余暇活動」と呼ばれ、「都会の人は休みの日に農村に遊びにおいで」という活動です。

Q. 創業からの歴史と現在の事業内容を教えてください。
祖父の代から、ブドウと梨を中心に栽培し、国道210号沿いの直売店で販売を行っていました。当時、販売は好調でしたが、私が事業を引き継いだ頃、台風の影響などで経営が困難になったことがありました。その時、当時の浮羽町（現うきは市）が「グリーン・ツーリズム」の話を持ってきてくれました。「グリーン・ツーリズム」は、通称「農村滞在型余暇活動」と呼ばれ、「都会の人は休みの日に農村に遊びにおいで」という活動です。



うきは果樹の村
やまんどん
代表
末次 研治さん

トップインタビュー

うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介をしています。
今年度は、広報うきはでも久留米大学生による取材記事を掲載します。うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

Q. うきは市の方に何か伝えたいことはありますか。
一人一人の力は微力ですが、みんなが一つになつたらうきは市はなんでもやれると思つています。うきは市の魅力を充分に伝えるために、みなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。

Q. うきは市の方に何か伝えたいことはありますか。
一人一人の力は微力ですが、みんなが一つになつたらうきは市はなんでもやれると思つています。うきは市の魅力を充分に伝えるために、みなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。

Q. うきは市の方に何か伝えたいことはありますか。
一人一人の力は微力ですが、みんなが一つになつたらうきは市はなんでもやれると思つています。うきは市の魅力を充分に伝えるために、みなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。

Q. うきは市の方に何か伝えたいことはありますか。
一人一人の力は微力ですが、みんなが一つになつたらうきは市はなんでもやれると思つています。うきは市の魅力を充分に伝えるために、みなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。

Q. うきは市の方に何か伝えたいことはありますか。
一人一人の力は微力ですが、みんなが一つになつたらうきは市はなんでもやれると思つています。うきは市の魅力を充分に伝えるために、みなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。

Q. うきは市の方に何か伝えたいことはありますか。
一人一人の力は微力ですが、みんなが一つになつたらうきは市はなんでもやれると思つています。うきは市の魅力を充分に伝えるために、みなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。

会社名 うきは果樹の村 やまんどん
所在地 うきは市浮羽町山北2212-7
電話 0943-77-4174
FAX 0943-77-1174
HP <http://www.yamandon.com>

この記事に関する問い合わせ先
うきはブランド推進課商工振興係
TEL:0943-76-9095
取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト

うきはのはなし

検索



久留米大学2年
江越 優香



久留米大学2年
池田 航



久留米大学2年
森田 絵里加

★取材を終えて★
緑に囲まれた土地においておいしい水とフルーツがたくさん実っていてとても新鮮な感じがしました。フルーツ狩りだけにとどまらず、とれたての果物を使った50種類以上のケーキが食べられるカフェが隣接しており、自然を堪能できる素敵な場所でした。
フルーツ狩りというワンシーズン限定のところがいいイメージだったのですが、一年中楽しめるというところに大変魅力を感じました。梨と葡萄を頂きましたが、梨がとても気に入りました。スーパーで買う梨とは格段に違いました。とても甘くて酸味がなく、水々しいため食べやすく、美味しかったです。
（森田）
「やまんどん」に来ている家族連れの中で、小さな子どもが笑顔で楽しそうにしている姿がとても印象に残りました。隣接のカフェ「夢語寄家（むごよか）」では地域の野菜を使ったメニューが豊富で、ボリュームもあり、味も大満足でした。季節によって様々なフルーツが楽しめるので、今度は友人たちとまた訪れたいです。（池田）
（江越）